T-2602090

組立・施工・取扱説明書

お客様保管用

●糸屋格子
●ささめ格子
●おぼろ格子
●枡格子
●細格子

京町家シリーズ 格子 共通

このたびは、当社商品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。この商品を安全に正しく施工していただくため、この「組立・施工・取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。

安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解して本文をお読みください。また、本説明書および当社カタログに記載されている内容に反する施工やご使用をされた場合、保証対象外となります。

安全記号	
警告	●取り扱いを誤った場合、使用者が死亡もしくは重傷を負う可能性がある危険度が「高い」内容を示しています。
注意	●取り扱いを誤った場合、使用者が中、軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の可能性があり危険度が「中、軽い」内容を示しています。
一般記号	
	●組み立て、施工手順で、特に注意して作業を進める必要がある内容を示しています。 ●注意して守っていただかないと、組み立て、施工が困難、あるいは強度不足のため、施工後不具合が発生する可能性のある内容を示しています。

組立・施工の前に

警告

●この商品は隣地との視界をさえぎる目的で設置するものです。転落、横断防止を目的とした防護柵や、歩行、動作を補助する目的のために使用しないでください。
●屋上やがけの上など、商品が落下した場合にケガをする可能性のある高所には設置しないでください。
●お子様が踏み台として使用し、転落事故につながる場所への設置は絶対にしないでください。
●説明書に表示している基礎部の埋め込み深さは一般的な場合です。現場の地盤状態に合った基礎部の寸法（体積）にて施工し、安全を確保してください。
●組み立て、施工時、コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）や、コンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）で塩素系や強アルカリ系のものは、絶対使用しないでください。使用すると、金属部分が腐食し、破損、倒壊の可能性があり危険です。

注意

●土地の高低にかかわらず、柱の埋め込み深さを十分確保しないと危険です。
●安全を確保するため、組み立て、施工は必ず専門の業者が行ってください。
●組み立て、施工は正しく行わないと危険です。組み立て、施工前に必ず本説明書をお読みください。
●商品を正しく施工するためには、必ず本説明書に従ってください。
●梱包明細表で必要な部材、部品がすべて揃っているか確かめてから、組み立ててください。
●誤った使用を避けるため、組み立て、施工終了後、必ず本説明書は施主様にお渡しして、取り扱いの注意について説明してください。
●給排水管などの地下埋設物に影響を与えないか位置を確認してから施工してください。
●高台、強風地域、特にがけの上、屋上、風の通り道などへの施工は避けてください。
●防犯上、不審者が踏み台として使用し、侵入が容易になるような場所への設置はしないでください。
●給湯、暖房機などの排気熱が直接商品に当たると被膜の劣化、はくりにつながりますので、熱の影響のない場所か確認してください。
●給湯、暖房機などの熱排気が商品で妨げられ建物内部にこもったり、適切な換気ができなくなるような場所に設置しないでください。
●設置場所に正しく施工でき、不具合なく使用することができることを確認してください。
●通路など、通行の妨げになる場所へは施工しないでください。
●構造物、建築物の屋根などからの雪の落下を受けない位置に設置してください。

組立・施工の前に

●積雪地域に施工されるときには、雪により商品が倒壊しても危険がない場所に施工してください。
●振動、衝撃のある場所へは、施工しないでください。商品の破損、倒壊につながります。
●大気中に強い酸やアルカリ成分が多く含まれる場所では、商品の性能が低下する可能性があります。
●水はけの悪いと思われる場所への設置はおやめください。
●常に水や温水に触れたり水没する場所、また温泉やそれに類する水質に触れたり水没したりする場所への設置はしないでください。

組立・施工上のご注意

●風の強い場所では、当社商品の周囲に十分な空間を確保してください。周囲を囲うと商品に予想以上の風圧がかかり、破損、倒壊の可能性があります。
●組み立て、施工場所の整理整頓、適切な安全確保を行ってください。高所作業での転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、暗所作業時の照度の確保などを必ず行ってください。
●適切な作業服および保護具（保護帽、安全帯、その他作業者身体の保護具）を正しく使用してください。
●工具、器具、保護具などの安全機能を十分確認し不具合のあるものは使用しないでください。
●必ず本説明書に従って、施工してください。正しい順序で施工されなかった場合には、商品の強度など性能が低下するほか、倒壊につながる場合があります。
●組み立て、施工用のボルト、ビスは規定本数（当社指定純正品）を確実に締め付け、固定してください。
●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触することがないように注意してください。
●商品が、腐食する可能性のある接着剤や溶剤などの化学薬品に、接することがないように注意してください。
●商品の改造は絶対にしないでください。商品の性能が落ち、強度不足による破損、倒壊の可能性があり危険です。
●組み立て、施工中は、商品にキズがつかないように十分に注意してください。
●商品にバリがある場合は取り除いてください。特に切り詰めなど現場加工の場合は必ず行ってください。
●組み立て、施工時に、雨水がたまらないように十分注意してください
●商品に雨水がたまらないように、適切な位置に水抜き穴をあけることをおすすめします。
●雨水等の進入防止のために、必要な箇所には必ずシーリングをしてください。
●組み立て、施工終了後は、必ず商品が正しく組み立てられているか確認してください。特にボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。
●組み立て、施工終了後は、施工時の汚れをきれいに取り除いてください。

基礎工事について

●基礎は安全のため必要な強度を十分確保してください。
●凍上する可能性のある寒冷地で施工を行う場合は、必ず凍上線の下まで基礎部を確保する施工を行ってください。
●説明書に表示している基礎部の埋め込み深さは一般的な場合です。現場の地盤状態に合った基礎部の寸法（基礎体積）にて施工し、安全を確保してください。
●組み立て、施工時、コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）や、コンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）で塩素系や強アルカリ系のものは、絶対使用しないでください。使用すると、金属部分が腐食し、破損、倒壊の可能性があり危険です。
●組み立て、施工時、商品にコンクリート（またはモルタル）の抽出液が付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性のため、施工後シミ、ムラなどが発生し、外観不良の原因になります。付着した場合は、速やかに水を含ませた布などでふき取ってください。

使用上のご注意

●アルミ製品の表面にキズが付いたり、塗装はがれが生じると、商品の腐食や強度低下の原因になりますので、十分に注意して取り扱ってください。
●商品の切り口に切断時のバリが残っている場合や、現場加工にともないささくれが発生する場合があります。手などにケガをしないように、取り扱いには十分注意してください。発見した場合は放置せず、施工店に連絡してください。
●アルミ製品は、高温になる場所では他の金属材料に比べて熱による変形が生じやすい材料です。商品の近くで火気を使用しないでください。

使用上のご注意

注意

- ●商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃、荷重を与えると破損、倒壊事故の原因になります。絶対にしないでください。
- ●無理な荷重をかけないでください。商品の上で飛んだり、跳ねたりしないでください。局部的に重い物をのせたり、立てかけたり、ぶらさげたりしないでください。ぶらさがったり、乗ったり、寄りかかったり、体重をかけたりしないでください。ボールなど投げつけたりしないでください。
- ●安全性の高い材料を使用しておりますが健康を害する恐れがありますので、小さなお子様やペットがなめたり、かじったりしないようにご注意ください。
- ●商品を改造したり、穴をあけたり、当社オプション品、付属品以外の取り付けは避けてください。商品の性能が低下する可能性があり危険です。
- ●運動具やお子様の遊具、踏み台、ふとんや洗濯物を干す等、目的以外の使用は絶対にしないでください。
- ●商品が破損したり、グラグラした場合は、すぐに施工店に連絡してください。破損したままで使用していると事故の原因となり危険です。
- ●強い雨の場合、雨水が浸入する可能性がありますので注意してください。
- ●積雪のある地域では、必要に応じて早期に除雪してください。

メンテナンスのご注意

アルミはスチールなどに比べ、サビに強く、維持費のかからない素材です。しかし、表面に付着した汚れを長期間放置しておくと腐食の原因になることがあります。軽い汚れだと簡単なケアで、ちょっとした汚れはぞうきんなどで軽くふくだけで十分。また、年に数回の定期的な水洗いによって、アルミの美しい光沢をいつまでも保つことができます。

◆汚れの程度と掃除方法

内　容	用　具	方　法
軽い汚れの場合	柔らかい布、スポンジ、水	柔らかい布、スポンジで水ぶきした後、からぶきしてください。
ひどい汚れの場合	柔らかい布、中性洗剤	中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いしてください。その後、からぶきしてください。

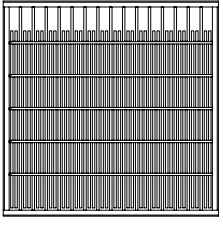
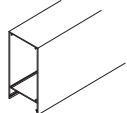
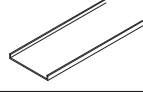
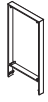
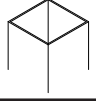
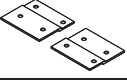
◆お手入れのご注意

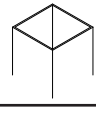
- ●お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。
- ●金属ブラシ、金ベラ、スチールウール、目のあらい紙ヤスリなどは使用しないでください。
- ●小石、砂などが付着したままこすると、アルミ表面にキズが付きます。あらかじめ取り除いてください。
- ●アルコール、ベンジン、アセトンなどの有機溶剤や石油類などは使用しないでください。
- ●小さなキズでも早めに補修されることをおすすめします。水に濡れたときはからぶきしてください。
- ●安全のため、定期的にボルト、ナット、ビスにゆるみがないか確認してご使用ください。
- ●工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
- ●定期的なお手入れにより、アルミ製品をいつまでも美しく保つことができます。

◆お手入れのご注意

特に汚れのひどい工業地帯や海岸地帯ではお手入れの回数を増やしてください。

海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
年1～4回	**年1～3回**	**年0.5～2回**	**年0.5～1回**

部品の確認

※商品は購入時に選択したものが入っています。
※部材の数量はそれぞれの基本型1スパン分の数量です。
※追加型は柱（75角柱）が1本になります。

■格子梱包明細

◆パネル本体

名 称	姿 図	数 量
パネル本体 （商品により外観は異なります）		1枚

■別売部品梱包明細

1 ◆フレーム（通常仕様）

名 称	姿 図	数 量
フレーム 75×150		1本
フレーム 下部カバー		1枚
フレーム取付用 インナー金具		2個
インナー金具 取付用ガイド		1個
シンワッシャー 5×70		12本
シンワッシャー 5×19		12本
75角柱		2本
柱端部キャップ		2個
フレーム取付用 下部金具		2個

2 ◆フレームレス用柱 75角

名 称	姿 図	数 量
75角柱		2本
柱端部キャップ		2個

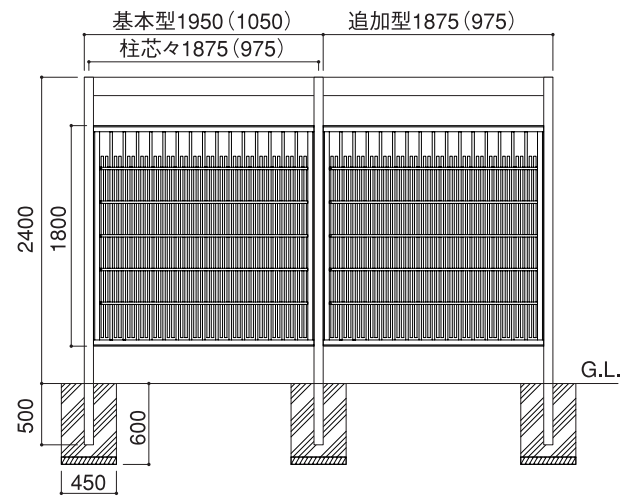
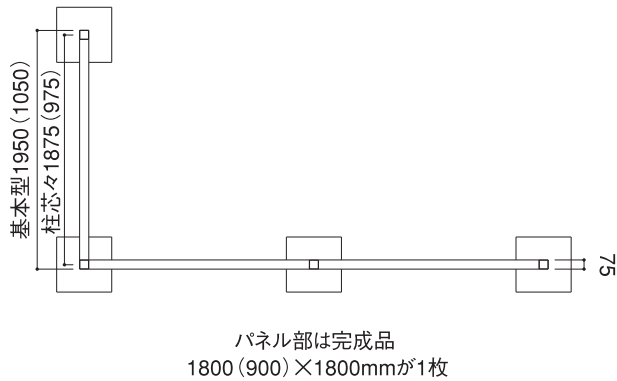
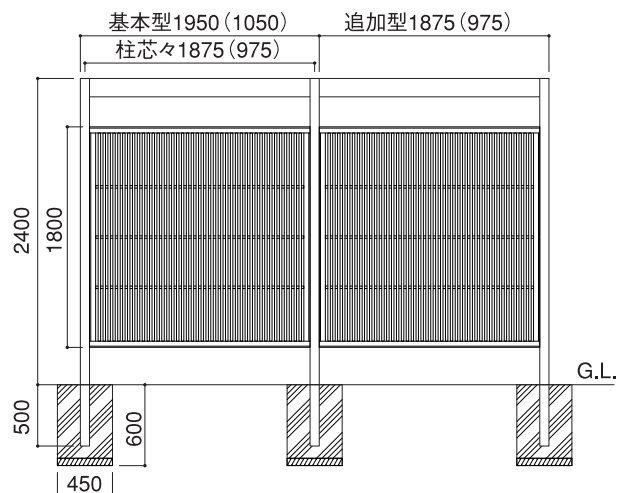
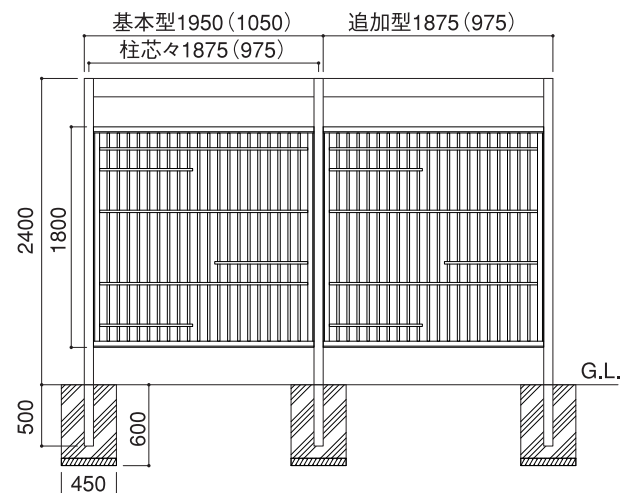
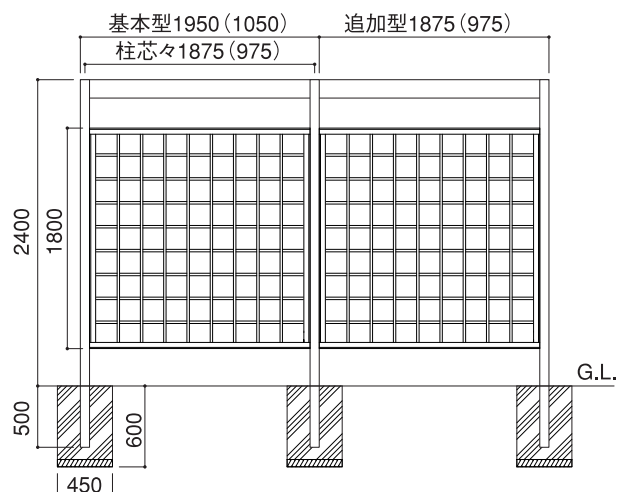
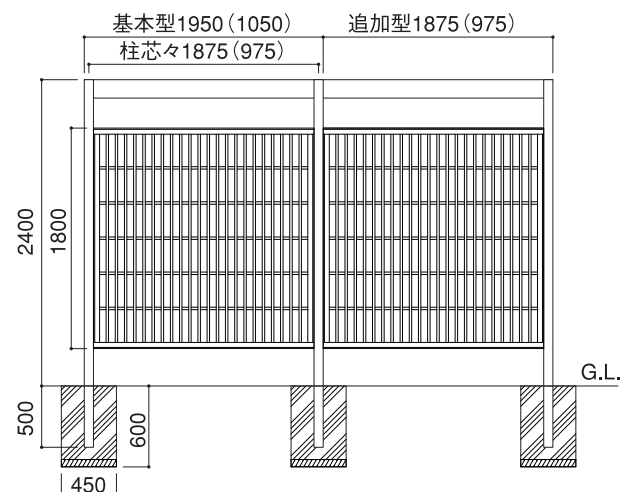
3 ◆取付金具

名 称	姿 図	数 量
取付金具A		4セット
取付金具B		4セット

納まり図

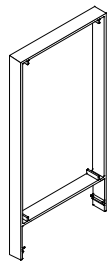
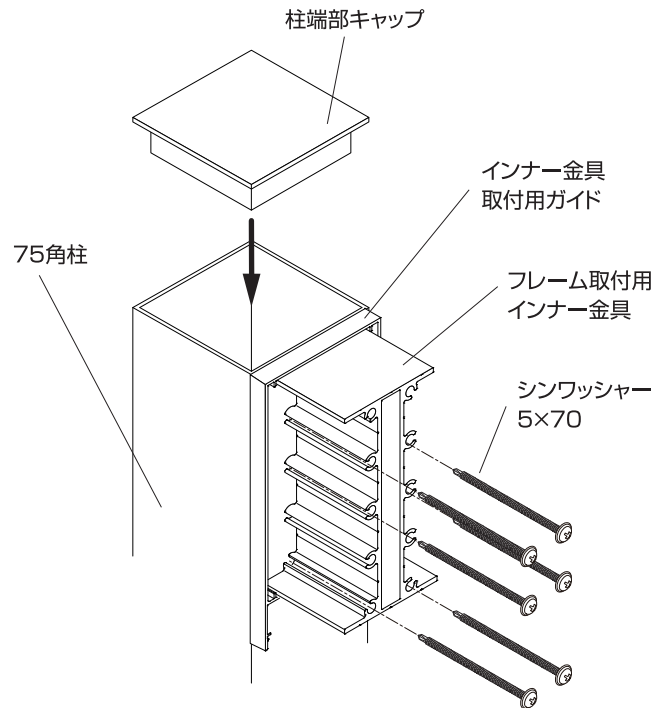
※参考基礎寸法です。

■格子（単位:mm）

糸屋格子

ささめ格子

おぼろ格子

枡格子

細格子

組立・施工

下準備

柱にインナー金具、キャップを取り付けます

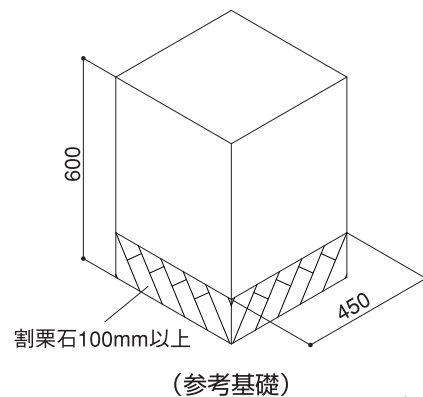
インナー金具取付用ガイドを使用して、フレーム取付用インナー金具を75角柱に取り付け、柱端部キャップをはめ込みます。

本体の組み立て

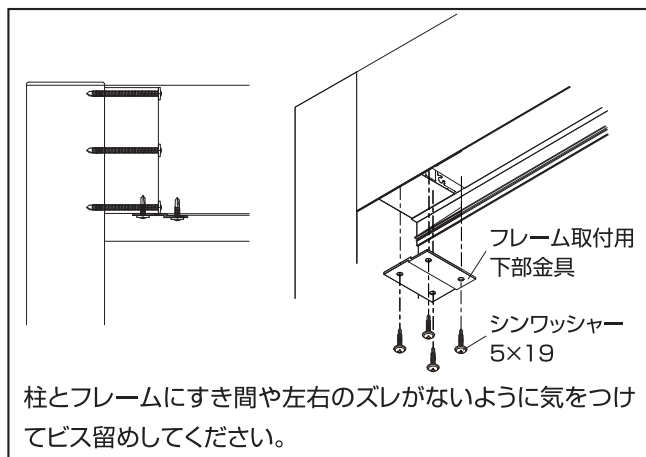
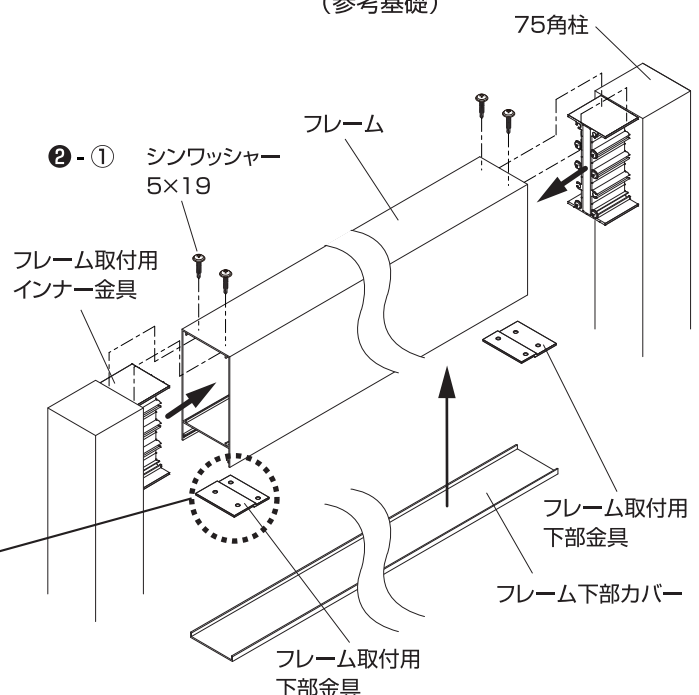
❶ 柱位置に合わせて基礎を掘ります

納まり図（P.5）を参照し、柱位置に合わせて基礎を掘ります。

（参考基礎）

ご注意

○基礎の下には必ず割栗石を敷いてください。
○地中には水道管やガス管などさまざまな埋設管があります。施工時は十分にご注意ください。

❷ 柱にフレームを取り付けます

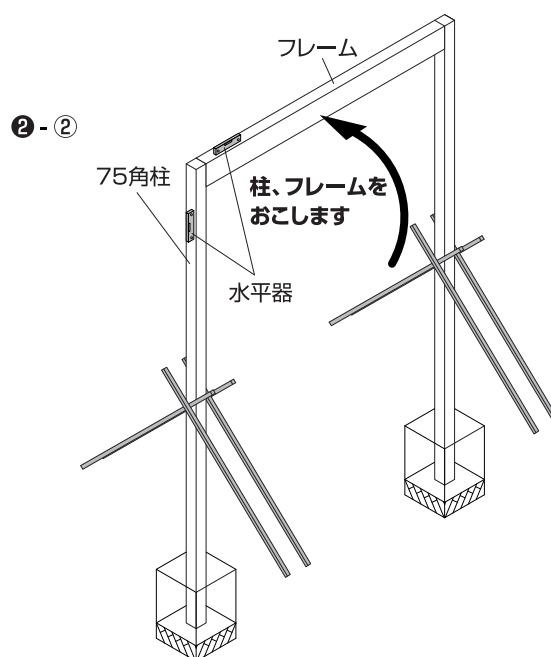
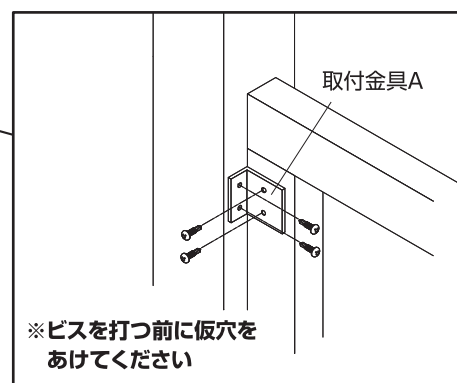
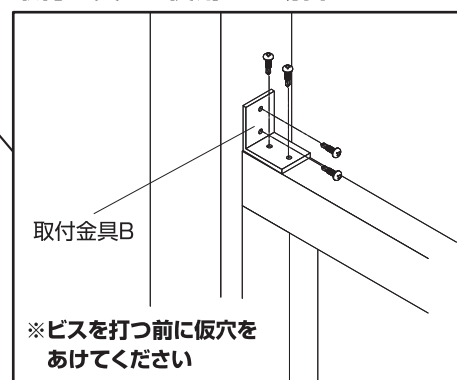
①フレームをフレーム取付用インナー金具に取り付け、フレーム下部カバーをはめ込みます。

柱とフレームにすき間や左右のズレがないように気をつけてビス留めしてください。

組立・施工

②あらかじめ柱位置に合わせて掘った基礎に柱を入れて立て、仮押さえ用の木材で仮押さえをし、水平器で水平、垂直を確認してください。

❷-②

細格子の施工方法

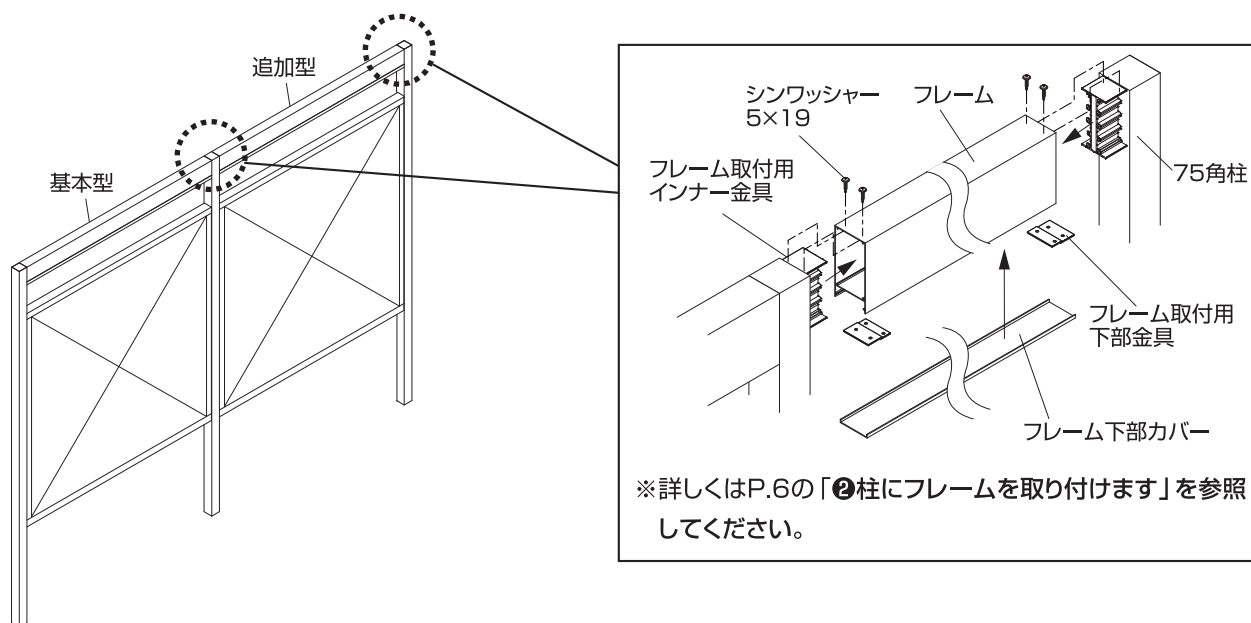
柱にパネルを取り付けます

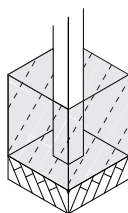
柱の任意の位置にパネル本体を取り付けます。

取付金具Aを使用する場合

取付金具Bを使用する場合

組立・施工

連結方法について

❶ 基本型に追加型を連結します

基本型に追加型のフレームを連結し、
パネル本体を取り付けます。

※詳しくはP.6の「❷柱にフレームを取り付けます」を参照
してください。

❷ 基礎に打設します

柱の垂直を確認後、仮押さえをした状態で基礎にモルタルを
流し込み固定します。

廃棄について

ご不要になった商品、また現場で発生しました残材等につきましては、産業廃棄物（安定型）になりますので、各地域の条例等に従って正しく処分してください。

お客様サービスセンター　通話料無料　0120-51-4128　受付時間/月～金　AM9:00～PM5:00（祝日は除く）

株式会社タカショー　本社／〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂20-1　TEL. 073-482-4128（代）　FAX. 073-486-2560（代）